2025年12月期
第2四半期 決算説明会

株式会社西部技研（証券コード:6223）

2025年8月8日

将来見通しに関する注記
本資料に掲載されている見通し数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性がございます。

SEIBU GIKEN

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期 第２四半期実績

（単位：百万円）

	2024年/12月期 Q2		2025年/12月期 Q2		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率(%)
売上高	14,721		13,897		▲824	94.4
売上総利益	4,910	33.4	5,124	36.9	214	104.4
販売費および一般管理費	3,279	22.3	3,093	22.3	▲186	94.3
営業利益	1,630	11.1	2,031	14.6	400	124.6
経常利益	1,744	11.9	1,985	14.3	241	113.8
親会社株主に帰属する当期純利益	1,390	9.4	1,496	10.8	105	107.6
1株当たり当期純利益（円）	67.85		74.06		-	-
EBITDA*1	2,089		2,494		404	119.3
EBITDAマージン*2（%）	14.2		18.0		-	-

*1: EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 にて算出　　*2: EBITDAマージン＝EBITDA/売上高

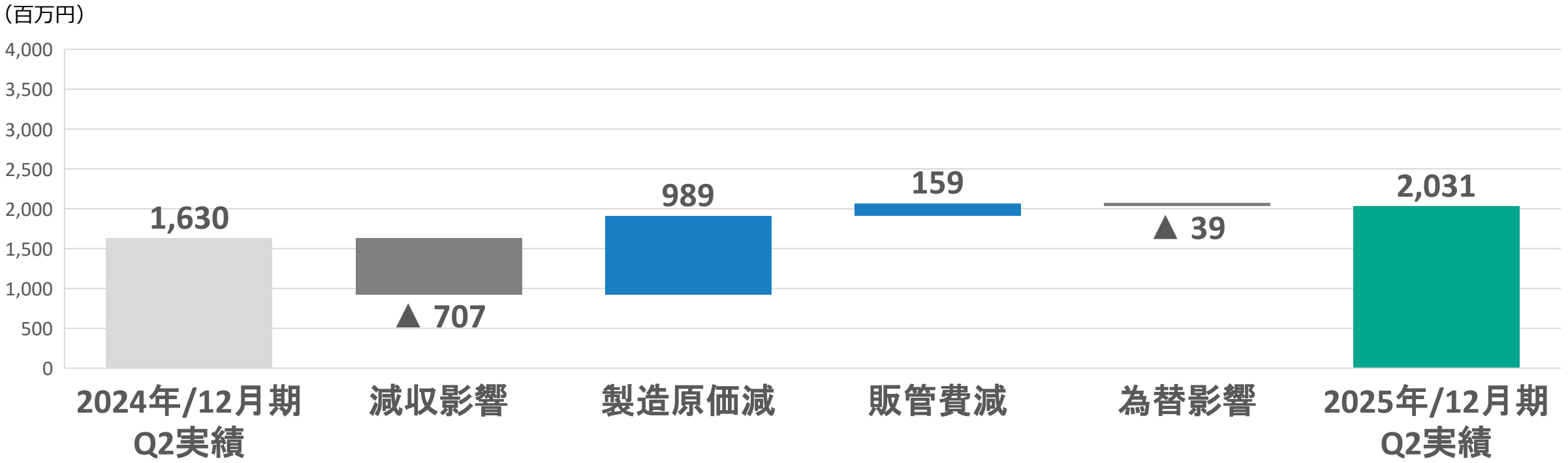
売上高（▲824百万円）：　日本やその他アジア（中国、韓国以外）でVOC濃縮装置を中心に売上が増加するも、欧州や米国、韓国でデシカント除湿機等の売上が減少したこと（前期大型案件の反動等）により減収

営業利益（+400百万円）：　売上総利益率の高い案件の影響により増益

⇒ 通期見通しに対する進捗は想定線であり、通期見通しの変更はなし。

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

営業利益の変動要因（前年同期比）



- 減収影響：　欧州、米国、韓国でデシカント除湿機等の売上が減少
- 製造原価：　減収および粗利率の高い案件の影響により製造原価減少
- 販管費：　減収に伴い販管費減少
- 為替影響：　円高の影響は軽微

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

製品別・事業別 売上高

製品別 （単位：百万円）	2024年/12月期 Q2	2025年/12月期 Q2	前年比(%)
デシカント除湿機	9,487	6,888	72.6
VOC濃縮装置	3,917	5,386	137.5
その他	1,316	1,621	123.2
合計	14,721	13,897	94.4

事業別 （単位：百万円）	2024年/12月期 Q2	2025年/12月期 Q2	前年比(%)
コア事業（機器・装置）	10,492	9,518	90.7
成長事業（トータルエンジニアリング）	4,228	4,378	103.6
合計	14,721	13,897	94.4

・デシカント除湿機は欧州や米国、韓国等での売上減（前期の大型案件の反動等）により減収
・VOC濃縮装置は日本、その他アジアで伸長し増収
・その他は主に日本で全熱交換器が伸長し増収
・事業別でみると、コア事業はデシカント除湿機の売上減の影響により減収、成長事業はVOC濃縮装置の売上増の影響により増収

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

地域別売上高

（単位：百万円）

	2024年/12月期 Q2	2025年/12月期 Q2	前年比(%)
日本	5,242	7,130	136.0
中国	2,861	2,738	95.7
韓国	1,303	459	35.3
中国・韓国以外のアジア	439	971	221.1
ヨーロッパ	3,470	1,649	47.5
米国	1,307	448	34.3
米国以外の北米	5	164	2749.8
その他	90	334	369.7
合計	14,721	13,897	94.4

- 日本およびアジア（中国・韓国以外）は主にVOC濃縮装置が伸長
- 欧州、米国、韓国は主にデシカント除湿機が減少
- その他地域は、オセアニア向けデシカント除湿機の案件により伸長

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

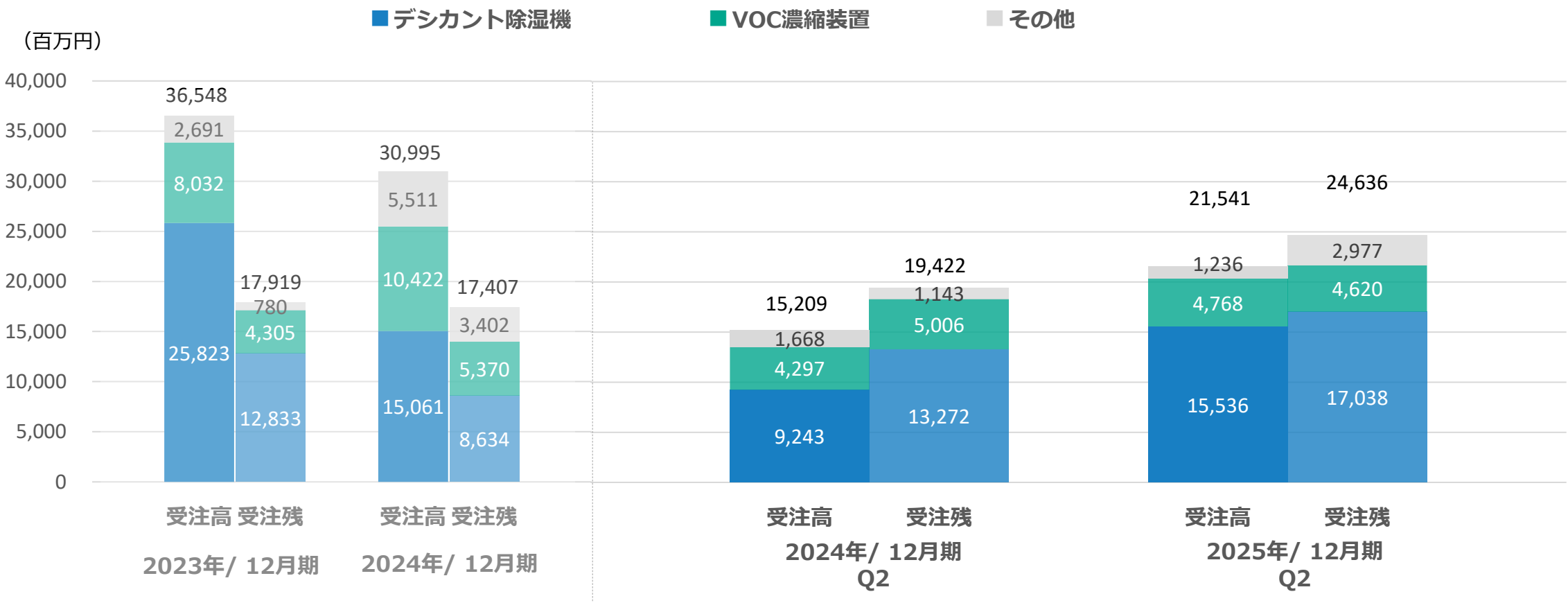
連結貸借対照表

（単位：百万円）	2024年/12月期	2025年/12月期 Q2
現金及び現金同等物	14,442	14,344
受取手形及び売掛金	6,883	6,728
その他流動資産	9,384	10,597
有形固定資産	10,937	11,381
その他固定資産	1,147	1,298
資産合計	42,795	44,350
有利子負債*1	1,525	3,660
その他負債*2	11,311	12,192
負債合計	12,837	15,853
純資産合計	29,957	28,496

*1： 有利子負債 = 短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 長期借入金 + リース債務
*2： その他負債 = 負債総額 - 有利子負債

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

受注高および受注残の推移



注：上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれていません

受注高は前年同期比141.6%、受注残は前期末比141.5%。

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期上期の主な受注

受注先	国	受注内容	受注金額	納入時期	開示日
国内キャパシタメーカー	日本	工場の建築設計・設備設計およびコンストラクション・マネジメント業務、工場内空調設備工事、ドライルーム工事、充放電装置（エージング工程）	約 48.3 億円	2025 年第4四半期 ～2026年第4四半期	2025/5/14
インド大手車載電池メーカー	印	インド大手車載電池メーカー（インド新工場）向け 有機溶剤回収装置	約 10.6 億円	2025 年第4四半期 ～ 2026年第1四半期	2025/6/9
国内総合エンジニアリングサービス会社	日本	ペロブスカイト太陽電池製造工場向け 低露点対応型デシカント除湿機	約 4.0億円	2026年第2四半期	2025/6/26

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期上期のトピックス

タイに子会社 Seibu Giken (Thailand) Co., Ltd.を設立

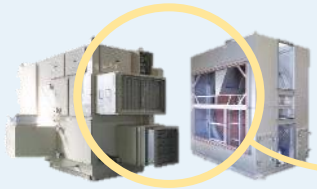
従来、タイではデシカント除湿機を中心に日本の西部技研により事業展開

タイ、その他ASEAN諸国、インド及び中東等の新興市場における
環境・省エネ機器や空調機器の販売およびメンテナンスの事業拡大に加え、
トータルエンジニアリングも視野に入れて新子会社を設立

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画2024-2026　成長戦略

コア事業の欧米市場シェア拡大、及びトータルエンジニアリング拡大による継続的な利益成長

成長機軸	**【コア事業】装置・機器販売** 顧客の最適な製造環境と環境負荷低減に寄与する機器・装置 	**【成長事業】トータルエンジニアリング** 最適空間創出のためのシステムの提案、設計、製作、施工等のトータルエンジニアリング
ターゲット	**エナジーデバイス** **電　　池**　車載用、定置用、次世代電池 **電池以外**　リチウムイオンキャパシタ ペロブスカイト太陽電池	**半導体、半導体材料**
重点施策	**コア事業** ● 投資が盛んな地域のデシカント除湿機市場シェア拡大（日本・北米・欧州） ● 各拠点の設備投資による生産能力増強で競争力向上 ● 東南アジア、インド等新興市場に対するアプローチ ● ローター交換需要喚起によるサービス事業の海外展開	
	成長事業 ● トータルエンジニアリングの拡大と海外展開（米国、韓国） ● サービス・メンテナンスの拡充により、未来につながる収益と安定基盤を確立	

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

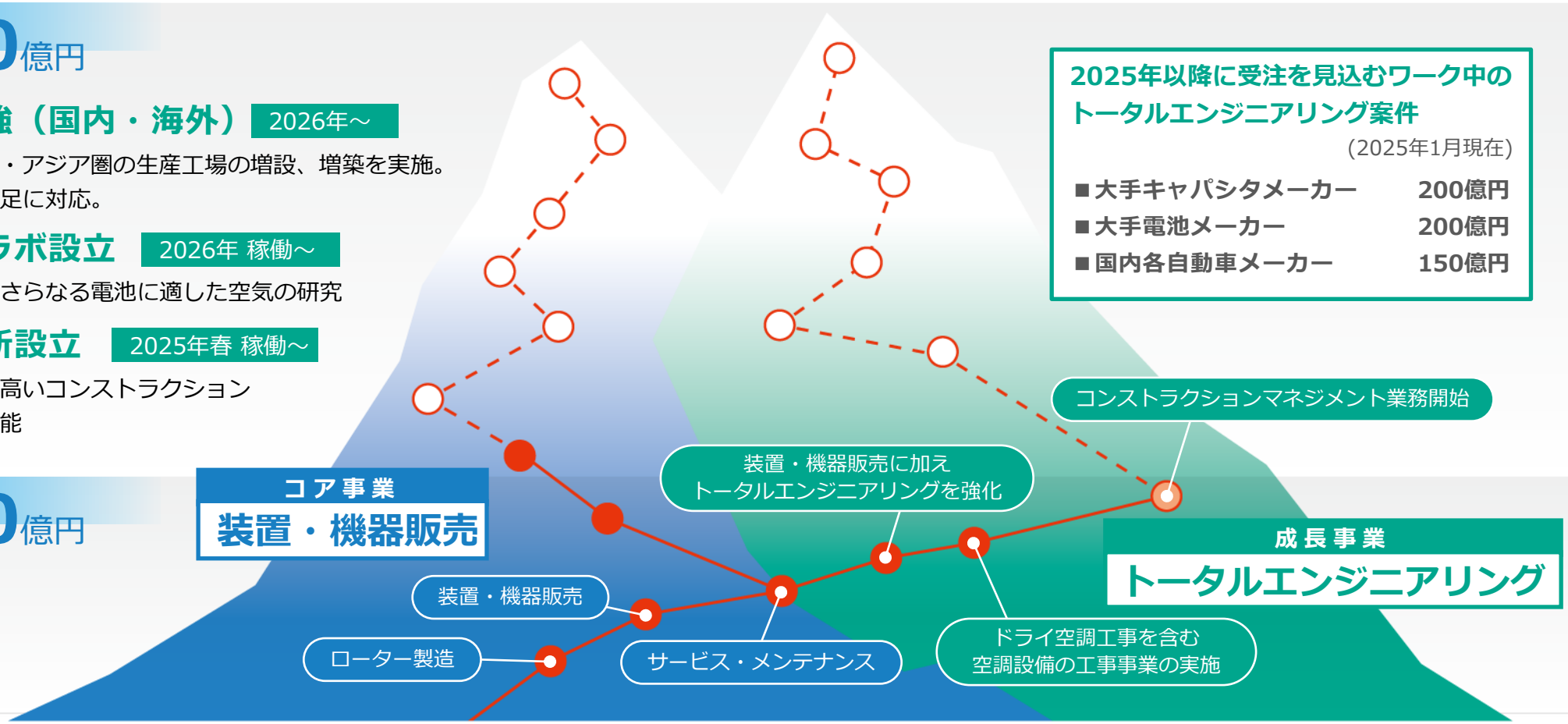
成長戦略について

電池や半導体製造工程の最適環境をトータルで提供
独自の製品の強みと卓越した環境エンジニアリングを融合させ、
西部技研にしか生み出せない空気のソリューションを世界に！

2030年 550億円

- **生産工場の増強（国内・海外）** 2026年～
  宗像工場第２工場増設・アジア圏の生産工場の増設、増築を実施。
  市場の慢性的な供給不足に対応。
- **西部技研電池ラボ設立** 2026年 稼働～
  実際に電池をつくり、さらなる電池に適した空気の研究
- **建築設計事務所設立** 2025年春 稼働～
  さらに高度で提案力の高いコンストラクション
  マネジメントを実施可能

2024年 320億円



2025年以降に受注を見込むワーク中のトータルエンジニアリング案件

(2025年1月現在)

■大手キャパシタメーカー	200億円
■大手電池メーカー	200億円
■国内各自動車メーカー	150億円

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2025年12月期
業績予想

SEIBU GIKEN

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2025年/12月期 通期見通し

2025/2/14発表から変更なし

（単位：百万円）

	2024年/12月期		2025年/12月期 見通し		前年比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	比率（%）
売上高	32,069		34,632		2,562	108.0
売上総利益	10,904	34.0	11,025	31.8	121	101.1
販売費および一般管理費	6,873	21.4	7,473	21.6	599	108.7
営業利益	4,030	12.6	3,552	10.3	▲478	88.1
経常利益	4,190	13.1	3,630	10.5	▲560	86.6
親会社株主に帰属する当期純利益	3,336	10.4	3,111	9.0	▲224	93.3
EBITDA*1	4,993		4,519		▲473	90.5
EBITDAマージン*2（%）	15.6		13.1		-	-

*1: EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 にて算出　　*2: EBITDAマージン＝EBITDA/売上高

売上高：日本を中心にエナジーデバイス投資案件の増加により増収見込み
営業利益：欧州でのEV投資の停滞や中国における市場縮小による競争激化等の要因により、機器販売の収益性が厳しくなる見込み

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

製品別・事業別 売上高

2025/2/14発表から変更なし

製品別 （単位：百万円）	2024年/12月期	2025年/12月期 見通し	前年比(%)
デシカント除湿機	19,661	19,537	99.4
VOC濃縮装置	9,572	10,947	114.4
その他	2,835	4,146	146.2
合計	32,069	34,632	108.0

事業別 （単位：百万円）	2024年/12月期	2025年/12月期 見通し	前年比(%)
コア事業（機器・装置）	24,022	22,500	93.7
成長事業（トータルエンジニアリング）	8,047	12,131	150.7
合計	32,069	34,632	108.0

・デシカント除湿機は日本、米国ではEV用電池の製造工場投資増加に伴い伸長するものの、韓国や欧州での減収により前年並み
・VOC濃縮装置は日本のNMP回収システム関連が伸長、その他はコンストラクション・マネジメント等により伸長
・事業別では、成長事業であるトータルエンジニアリングが、国内のエナジーデバイス投資増加に伴うドライルームやエネルギーマネジメントシステムの売上増に加え、半導体関連を含むコンストラクション・マネジメントの売上も寄与し大幅増収

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

地域別売上高

2025/2/14発表から変更なし

（単位：百万円）

	2024年/12月期	2025年/12月期 見通し	前年比(%)
日本	10,688	14,191	132.8
中国	6,851	7,511	109.6
韓国	3,404	2,759	81.1
中国・韓国以外のアジア	1,725	1,513	87.7
ヨーロッパ	5,616	4,203	74.8
米国	3,221	4,178	129.7
米国以外の北米	240	240	100.0
その他	321	35	10.9
合計	32,069	34,632	108.0

日本はトータルエンジニアリングを中心に伸長。
韓国は前期のデシカント除湿機等の大型案件の反動により、欧州はEV投資停滞による案件減少により、それぞれ減収
※ 米国の関税政策の影響は軽微の見通し

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

株主還元

2025/2/14発表から変更なし

・財務体質の健全化や将来に備えた内部留保とのバランスを図りつつ、安定的な配当を実行・維持することで株主に対して報いていく

・毎事業年度末日を基準日とした年1回の期末配当

・連結配当性向を重要な指標とし、連結配当性向40%以上を目標値とする

・2025年12月期 年間配当は70円（期末70円）を予定
・2/14発表の自社株買いが完了
（取得期間：2/17～6/2　取得金額：約10億円　取得株式数：約64万株）

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

参考資料

SEIBU GIKEN

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・フロー推移

（単位：百万円）

	2023年/12月期 Q2	2024年/12月期 Q2	2025年/12月期 Q2
営業キャッシュ・フロー	1,396	3,147	1,730
投資活動キャッシュ・フロー	▲ 601	▲ 1,137	▲ 1,088
フリー・キャッシュ・フロー	795	2,010	642
財務活動キャッシュ・フロー	▲ 207	▲ 1,046	▲ 291
現金及び現金同等物の期末残高	10,492	13,213	13,917

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

設備投資額・減価償却費・研究開発費

（単位：百万円）	2023年/12月期 実績	2024年/12月期 実績	2025年/12月期 Q2実績	2025年/12月期 通期見通し
設備投資	2,423 (957)	1,736 (2,483)	1,067 (147)	3,332
減価償却費	893	962	463	967
研究開発費	302	348	187	362

注*：支払いベース（括弧内は完成ベース）

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2024年/12月期 四半期実績

（単位：百万円）

	2024年/12月期 Q1		2024年/12月期 Q2		2024年/12月期 Q3		2024年/12月期 Q4	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	5,777		8,943		8,680		8,668	
売上総利益	1,999	34.6	2,910	32.5	3,040	35.0	2,953	34.1
販売費および一般管理費	1,513	26.2	1,766	19.8	1,753	20.2	1,840	21.2
営業利益	486	8.4	1,144	12.8	1,287	14.8	1,113	12.8
経常利益	596	10.3	1,148	12.8	1,292	14.9	1,153	13.3
親会社株主に帰属する四半期純利益	481	8.3	909	10.2	1,054	12.1	891	10.3
1株当たり四半期純利益（円）	23.48		44.37		51.41		43.50	
EBITDA*1	710		1,379		1,524		1,379	
EBITDAマージン*2（%）	12.4		15.4		17.6		15.9	

*1: EBITDA ＝ 営業利益 ＋ 減価償却費 にて算出　　*2: EBITDAマージン＝EBITDA/売上高

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2024年/12月期 四半期 製品別および地域別売上高

製品別

（単位：百万円）

	2024年/12月期 Q1	2024年/12月期 Q2	2024年/12月期 Q3	2024年/12月期 Q4
デシカント除湿機	3,543	5,944	5,601	4,573
VOC濃縮装置	1,541	2,375	2,374	3,280
その他	692	624	704	814
合計	5,777	8,943	8,680	8,668

地域別

（単位：百万円）

	2024年/12月期 Q1	2024年/12月期 Q2	2024年/12月期 Q3	2024年/12月期 Q4
日本	2,863	2,379	2,653	2,793
中国	1,317	1,543	2,073	1,917
その他アジア	663	1,078	1,229	2,157
ヨーロッパ	677	2,793	949	1,195
北米	205	1,108	1,711	436
その他	49	40	62	168

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

2024年/12月期 四半期受注高および受注残

受注高

（単位：百万円）	2024年/12月期 Q1	2024年/12月期 Q2累計	2024年/12月期 Q3累計	2024年/12月期 Q4累計
デシカント除湿機	2,807	9,243	12,169	15,061
VOC濃縮装置	2,297	4,297	7,172	10,422
その他	681	1,668	2,821	5,511
合計	5,786	15,209	22,164	30,995

受注残

（単位：百万円）	2024年/12月期 Q1	2024年/12月期 Q2	2024年/12月期 Q3	2024年/12月期 Q4
デシカント除湿機	12,338	13,272	9,959	8,634
VOC濃縮装置	5,202	5,006	5,256	5,370
その他	773	1,143	1,576	3,402
合計	18,314	19,422	16,792	17,407

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画2024-2026

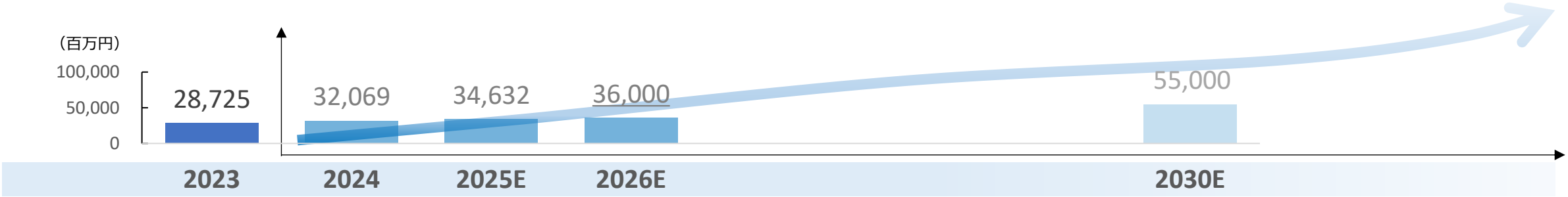
SEIBU GIKEN

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

中期経営計画の位置づけ

2030年のビジョン実現に向けての第1フェーズとして、持続的成長の土台づくりのための3年間

クライメイト・ニュートラルな未来実現のため、空気処理技術のイノベーション・リーダーであり続ける。



2023年時点

第１フェーズ
成長の土台づくり

中期経営計画：2024～2026年

- コア事業で市場シェア拡大
- 成長事業の本格始動
- グループガバナンス強化

第２フェーズ
成長事業の安定化

中期経営計画：2027～2029年

- 成長事業の安定収益化
- 成長投資の成果刈り取り

第３フェーズ
ビジョンの実現

中期経営計画：2030～2032年

- 成長産業への参画による持続可能な経営
- 連結営業利益90億円超の常態化

	2023年時点	第１フェーズ	第２フェーズ	第３フェーズ
営業利益率	15.0%	12%		17%以上
EBITDA率	18.1%	15%		21%以上
ROE	15.4%	13%		18%以上

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

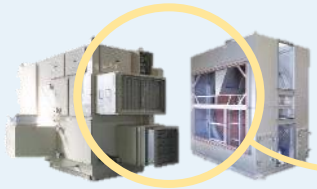
中期経営計画2024-2026　成長戦略

コア事業の欧米市場シェア拡大、及びトータルエンジニアリング拡大による継続的な利益成長

成長機軸

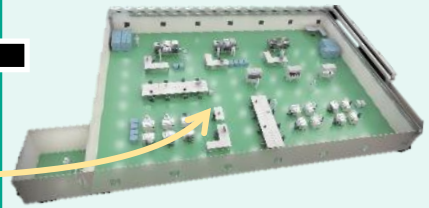
【コア事業】装置・機器販売

顧客の最適な製造環境と
環境負荷低減に寄与する
機器・装置



＋

【成長事業】トータルエンジニアリング



最適空間創出のためのシステム
の提案、設計、製作、施工等の
トータルエンジニアリング

ターゲット

エナジーデバイス

電　　池	車載用、定置用、次世代電池
電池以外	リチウムイオンキャパシタ ペロブスカイト太陽電池

半導体、
半導体材料

重点施策

コア事業

- 投資が盛んな地域のデシカント除湿機市場シェア拡大（日本・北米・欧州）
- 各拠点の設備投資による生産能力増強で競争力向上
- 東南アジア、インド等新興市場に対するアプローチ
- ローター交換需要喚起によるサービス事業の海外展開

成長事業

- トータルエンジニアリングの拡大と海外展開（米国、韓国）
- サービス・メンテナンスの拡充により、未来につながる収益と安定基盤を確立

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社の成長領域を取り巻く事業環境

		市場見通し	動　向
車載用電池	日　本		政策の後押しもあり相次ぎ大型投資の計画が発表
	中　国		生産投資過多により低迷
	欧　州		EV普及減速で投資が停滞
	北　米		政権交代による影響が不透明
車載用電池（次世代電池）			各国で全固体電池の開発が官民連携により加速
定置用蓄電池			自家消費や需給調整力としての需要が高まっている
電池以外のエナジーデバイス			【リチウムイオンキャパシタ】 データセンターやハイブリッド車向けで需要拡大 【ペロブスカイト太陽電池】 再生可能エネルギーの柱として、国の支援による開発・投資計画が発表
半導体、半導体材料			AIサーバー向け半導体関連企業は強気の投資。車載向け半導体投資は抑制の動き

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

事業概要①　製品群について

デシカント式除湿機

エナジーデバイス市場と共に伸長

売上高構成比（2024年度）
61.3%

- 車載バッテリー工場
- 食品
- 医療・薬品
- ﾍﾟﾛﾌﾞｽｶｲﾄ電池工場
- ﾘﾁｳﾑｲｵﾝ ｷｬﾊﾟｼﾀ工場

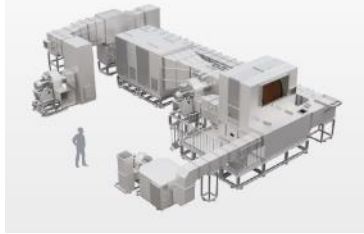
- グローバル市場において、競合欧州メーカーがトップシェア。当社は２番手と認識
- 冷却除湿方式では成し得ない、15℃以下の低温環境での除湿制御が可能
- リチウムイオン電池等のエナジーデバイス製造工程において必要な【ドライルーム】の設計、施工を含めたトータルエンジニアリングで他社との差別化を図る

2022年 159億円　2023年 185億円
2024年 196億円

VOC除去・溶剤回収装置

半導体・エナジーデバイス市場と共に伸長

売上高構成比（2024年度）
29.8%



- 半導体/半導体材料
- 車載バッテリー工場
- 塗装
- 印刷
- タイヤ製造

- グローバル市場においてトップシェア
- 従来の半導体・半導体材料工場の排ガス処理、印刷・塗装工場の脱ガス、脱臭に加え、リチウムイオン電池製造工程の溶剤回収装置として伸長
- 従来の湿式方式から弊社の乾式循環方式への切替で回収率アップ、ランニングコストもダウンが見込め今後のエナジーデバイス市場の成長とともに伸長

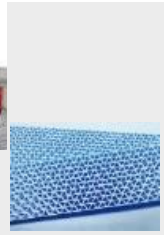
2022年 65億円　2023年 73億円
2024年 95億円

その他製品

工場GXの需要により伸長

売上高構成比（2024年度）
8.8%

全熱交換器


ハニカムフィルタ

- 商業施設
- ビル
- 公共施設
- 病院
- 工場ＧＸ
- 研究施設
- 一般空調

- 全熱交換機は国内市場トップシェア
- ビル、工場、病院等の一般空調設備で汎用的に使用するため今後も既存市場で堅調に推移
- CO2の削減効果が高く全熱交換という技術が見直され、工場GX等での需要が見込まれ伸長傾向

2022年 24億円　2023年 28億円
2024年 28億円

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

事業概要②　事業別（コア事業・成長事業）売上高

コア事業（装置・機器販売）

機械・装置販売及び付帯メンテサービスの集計

2023年 **254億円** ▶ 2024年 **240億円**

セグメント	23年売上高	24年売上高
デシカント除湿機	164億円	150億円
VOC濃縮装置	64億円	62億円
その他	25億円	27億円

〈増減要因分析〉

中国のデシカント除湿機の売上減少により減少。

2025年見通し **225億円**

成長事業（トータルエンジニアリング）

設計・工事・エンジニアリング事業の集計

2023年 **33億円** ▶ 2024年 **80億円**

セグメント	23年売上高	24年売上高
デシカント除湿機	20億円	45億円
VOC回収装置	9億円	33億円
その他	3億円	1億円

〈増減要因分析〉

国内・海外へ電池製造・半導体業界へ、
トータルエンジニアリング事業が拡大。

2025年見通し **121億円**

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

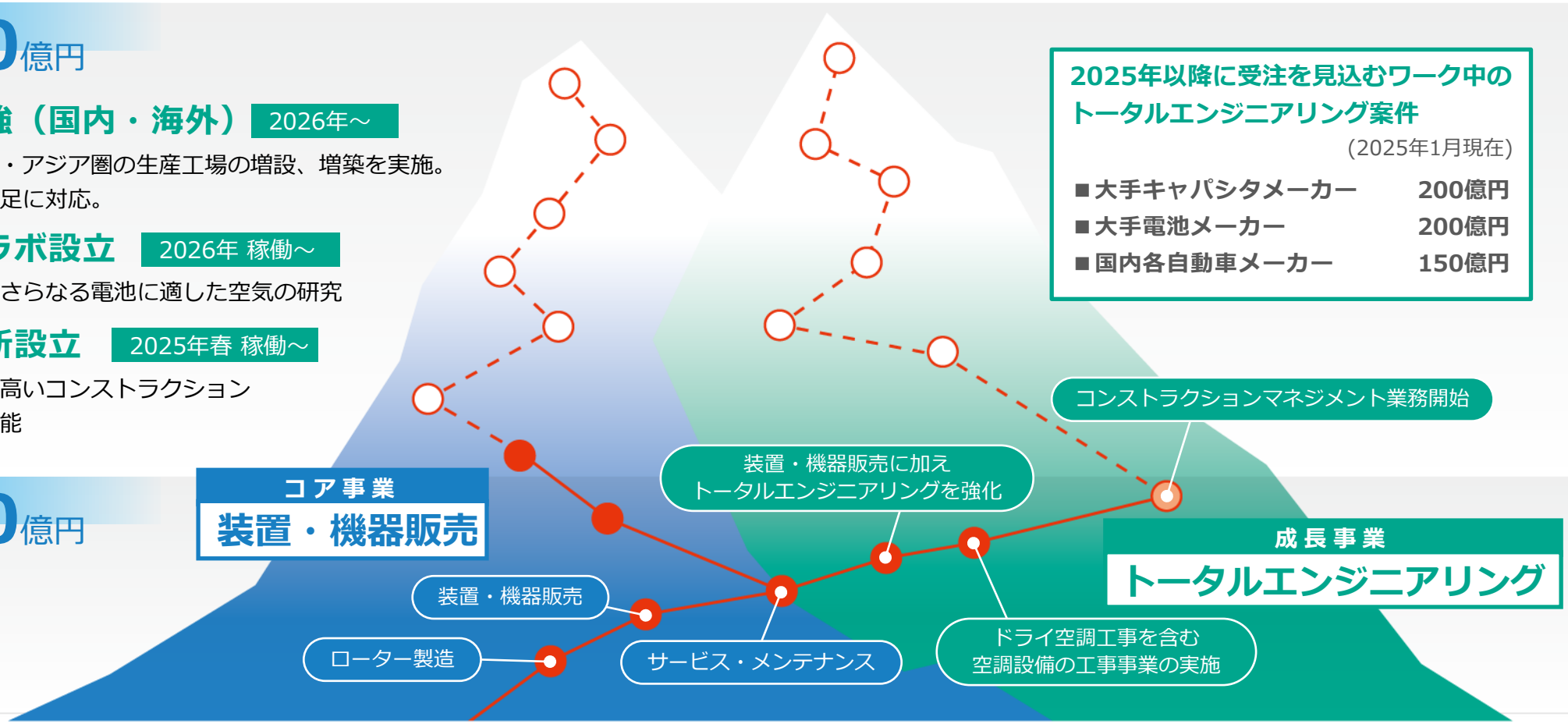
成長戦略について

電池や半導体製造工程の最適環境をトータルで提供
独自の製品の強みと卓越した環境エンジニアリングを融合させ、
西部技研にしか生み出せない空気のソリューションを世界に！

2030年 550億円

- **生産工場の増強（国内・海外）** 2026年～
  宗像工場第２工場増設・アジア圏の生産工場の増設、増築を実施。
  市場の慢性的な供給不足に対応。
- **西部技研電池ラボ設立** 2026年 稼働～
  実際に電池をつくり、さらなる電池に適した空気の研究
- **建築設計事務所設立** 2025年春 稼働～
  さらに高度で提案力の高いコンストラクション
  マネジメントを実施可能

2024年 320億円



2025年以降に受注を見込むワーク中のトータルエンジニアリング案件

(2025年1月現在)

■大手キャパシタメーカー	200億円
■大手電池メーカー	200億円
■国内各自動車メーカー	150億円

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

西部技研のトータルエンジニアリング①（リチウムイオン電池製造工程）

エネルギーを作るのにエネルギーを使っているという矛盾をなくす。（エネルギー削減をする技術）

リチウムは微量な水分で激しく燃焼する。だから電池製造工程にはドライ環境が必須。

セル製造時の使用エネルギー内訳

塗工乾燥・ドライルームで全体の８割以上を消費

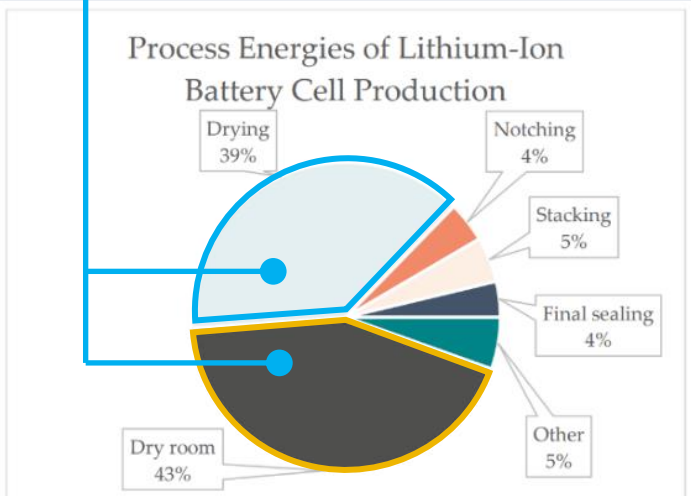


Figure 6. Circle diagram with different sources' energy contributions to the total cell production and battery pack assembly energy. Data from Yuan et al. (2017). The processes included in 'other' are: mixing, coating, calendaring, welding & sealing, $LiPF_6$ (electrolyte) filling, and pre-charging. It is clear here that running dry room equipment and NMP-drying are significantly larger contributors to process energy use than the sources.

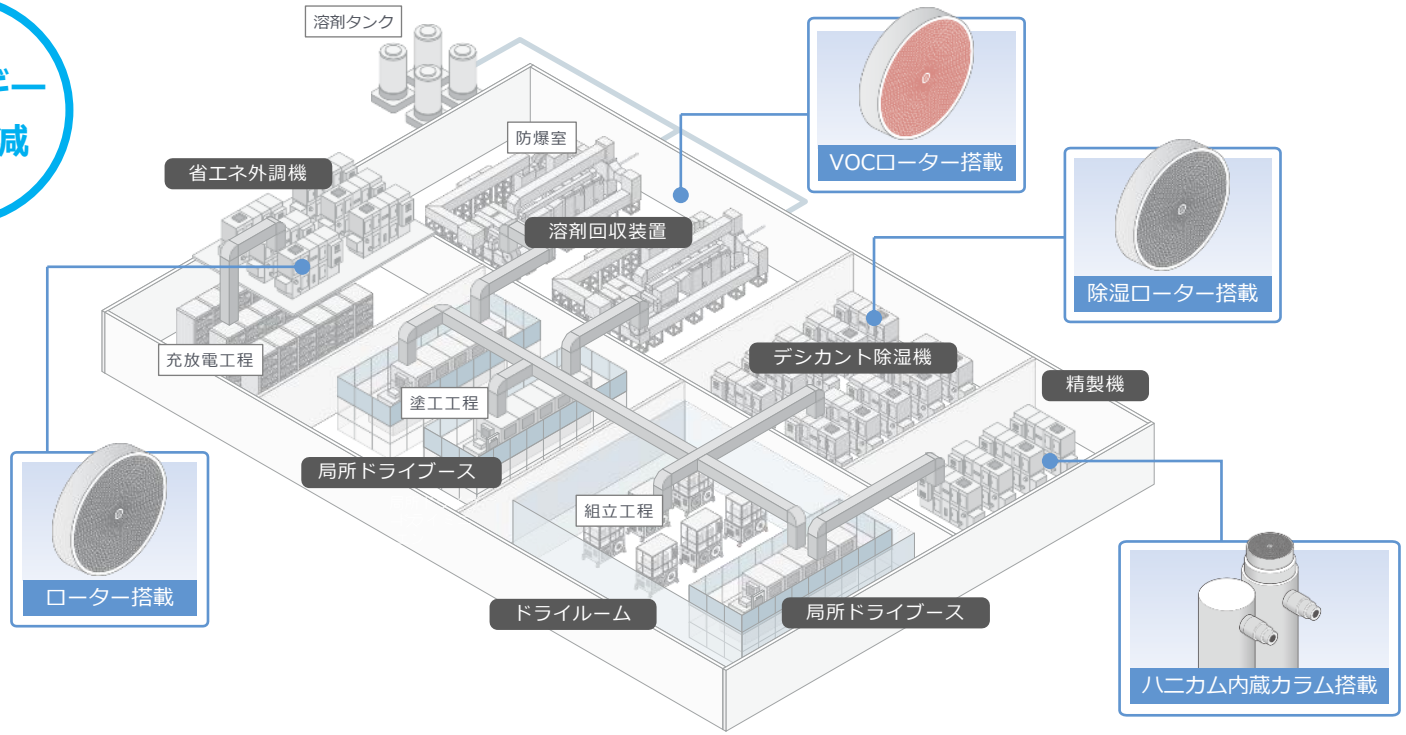
出展："Lithium-ion Vehicle Battery Production Status 2019 on Energy Use, CO2 Emissions, Use of Metals, Products Environmental Footprint, and Recycling" ivl & Swedish Energy Agency (2019)

国内製造の最大課題

海外エネルギー資源に頼る日本では
投入エネルギーを削減し、製造コストの低減が必須である。

西部技研のトータルエンジニアリングは、適切なエネルギーマネジメントにより
塗工乾燥・ドライルームでの **エネルギー消費を半減** できる。

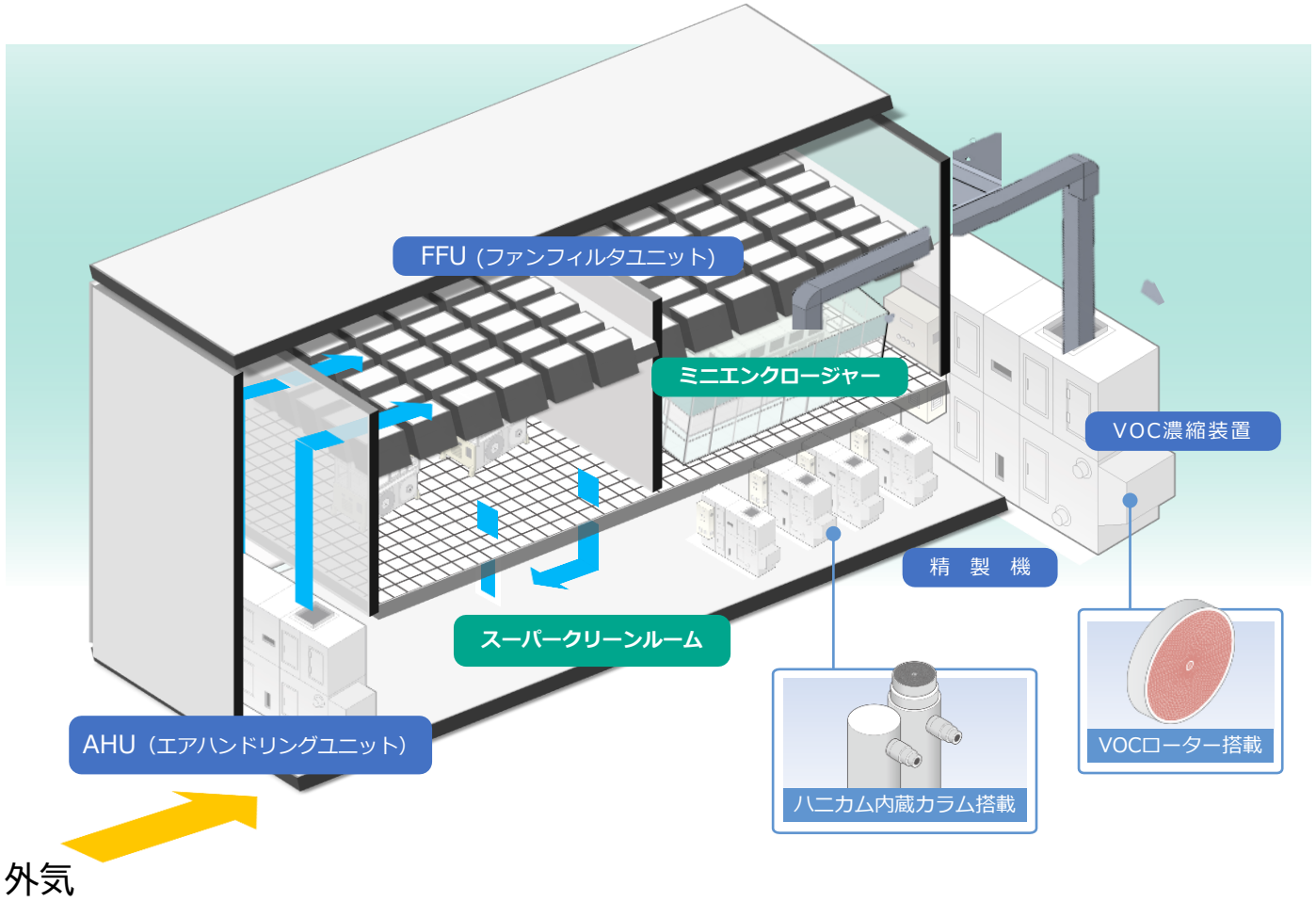
エネルギー大幅削減



Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

西部技研のトータルエンジニアリング②（半導体材料製造工程 等）

半導体材料製造工程をはじめとした様々な分野で必要な“スーパークリーンルーム”を創出



空気の専門家が創り出す

スーパークリーンルーム

空気の質をふくめてトータルエンジニアリング

クリーンルームにおける清浄度、温度、水分濃度を顧客のニーズに合わせて精密に管理した最適環境をトータル提供

エネルギー消費を削減した次世代空調

トータルエンジニアリングにより各機器から発生するエネルギーを効率よく利用・循環することが可能となり、個別発注では困難なトータルの省エネクリーンルームを創出して CO_2の削減に貢献

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

キャッシュ・アロケーション（2024-2026）

・将来の成長に向けての生産能力や生産性の向上、事業領域拡大のための投資を優先
・株主還元は配当を基本とし、利益成長と資本効率の状況に合わせて自社株買いを実施

資金の源泉と使途計画（2024～2026年度の3年間）

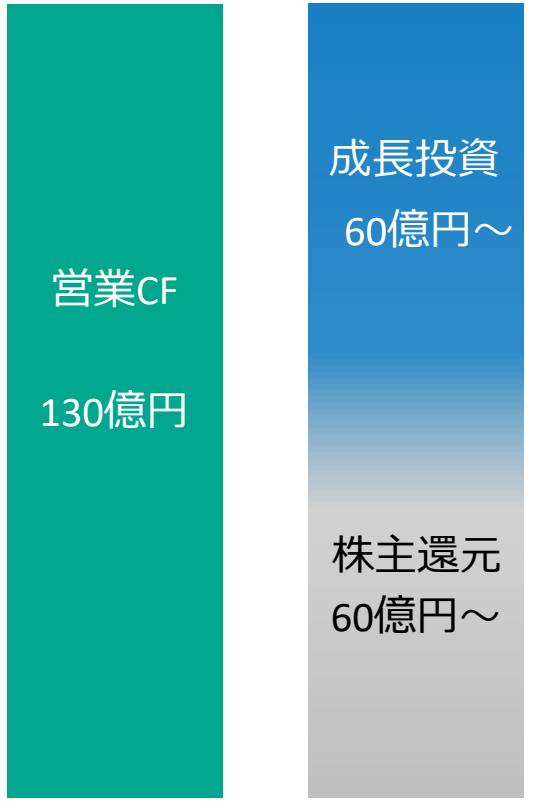
営業キャッシュフロー
130億円

投資キャッシュフロー
60億円～

生産能力増強
・国内除湿ローター工場の新設
（追加費用として約5億円）
生産性の向上
・中国の板金工場の新設（約20億円）
・定常的な生産性向上（20億円）
事業領域拡大の投資
・エンジニアリング事業拡大等のための投資
（提携やM&Aなど含む、10億円～）

株主還元
60億円～

●配当性向：
40%以上を目安とする
●自社株買い：
- 資本効率や業績、資金状況を勘案し、機動的に実施
- 本中期経営計画期間中に20億円を予定



Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

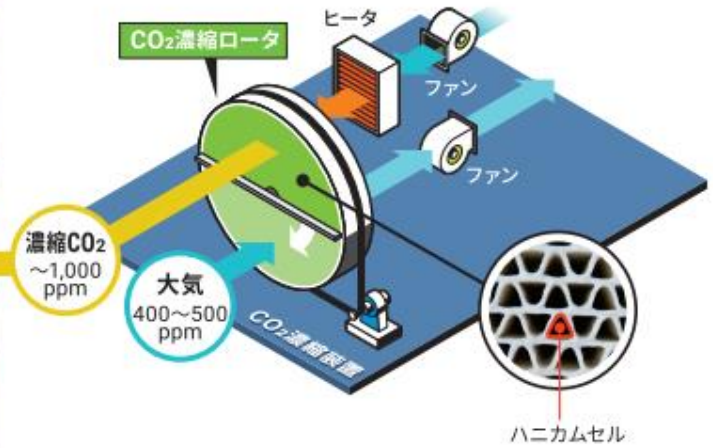
新製品の発売

ハウス栽培向け
大気中二酸化炭素（CO_2）濃縮・供給装置

C-SAVE Green®

特　長

- **収量増加：**高設いちご栽培での実証試験で確認
- **環境配慮：**化石燃料を使わず常温で安全かつクリーンなCO_2ガス供給
- **手間なし：**原料は大気のため燃料補給やガス交換不要、カンタン設置



2024年5月：J AGRI KYUSHUに出展
（2025年も出展予定）

中計2024-2026期間中の取り組み

- 量産化に向けた取り組み
- コストダウンに向けた取り組み
- いちご以外の植物（トマト等）や植物工場（レタス）での実証試験

農業（グリーンハウス）向け新規事業

C-SAVE Green と省エネ型換気装置（Green Save）で2027年度に年間10億円の事業規模を目指す

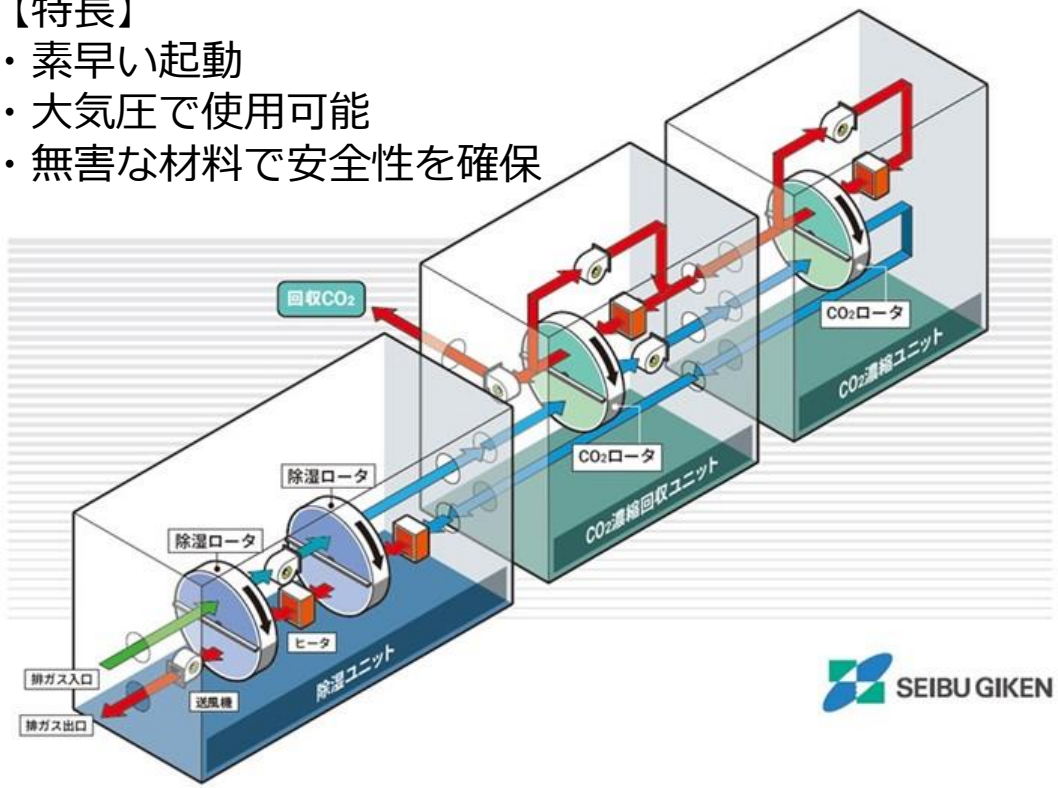
Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

研究開発：CO_2削減技術開発

C-SAVE
CO_2分離回収装置

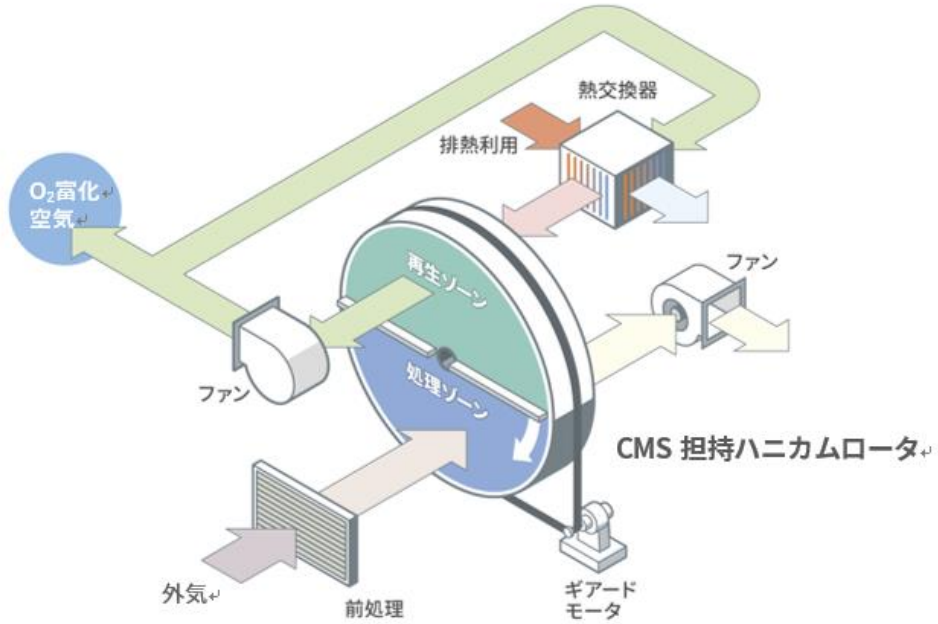
工場等から排出される低濃度(10%程度)のCO_2を、
中(60%前後)～高濃度(90%以上)に濃縮し、回収します。

【特長】
・素早い起動
・大気圧で使用可能
・無害な材料で安全性を確保



酸素濃縮装置の開発

空気中に含まれる酸素をハニカムロータを用いて直接濃縮する先導研究を、産学官連携で実施しております。酸素濃度の高い空気を燃焼器に導入することで、燃焼効率を向上させ、燃料投入量を減らすことで、CO_2の削減を目的としています。



Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

会社概要

SEIBU GIKEN

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

会社概要

会社名	株式会社西部技研
設立	1965年7月
代表取締役社長	隈 扶三郎
所在地	福岡県古賀市青柳3108番地3
従業員数	単体　392名 連結　779名（2024年12月31日時点）
事業内容	デシカント除湿機やVOC濃縮装置等の製造、販売、据付・保守等のサービス
グループ子会社	**中国** 西部技研環保節能設備（常熟）有限公司 迪思特空气処理設備（常熟）有限公司 **欧州** Seibu Giken DST AB（スウェーデン） Seibu Giken DST Poland SP. ZO.O. **北米** Seibu Giken America, Inc. Seibu Giken DST America, Inc. Seibu Giken & Kumyoung Environment, Inc. **韓国** Seibu Giken Korea Co., Ltd. **その他** (株)西部技研DRエンジニアリング

経営理念

独創と融合

個々の独自性と創造性を尊重し、それらをあらゆる次元で発展的に融合させることにより、新しい価値を継続的に生み出していく。
「独創と融合」を経営理念に掲げ、当社に関わるすべてのステークホルダーに価値を提供できるよう事業展開を行っています。

グループ理念

パーパス

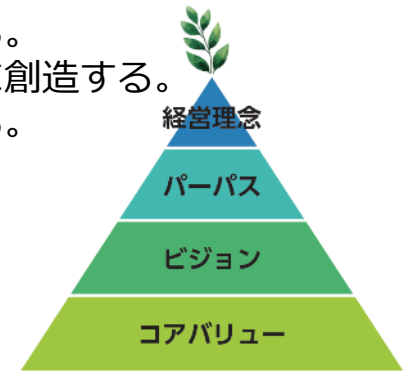
「 環境に優しい空気のソリューションを届ける。」

ビジョン　目指す姿

「 クライメイト・ニュートラルな未来実現のため、
空気処理技術のイノベーション・リーダーであり続ける。」

コアバリュー　西部技研グループが大切にする価値観

① お客様の信頼を得るため、
常に高品質の製品とサービスをお届けする。
② 前向きで協力的な職場環境をグローバルに創造する。
③ 創造的思考を巡らせ、責任ある行動をとる。
④ 率直にそして誠実に行動する。

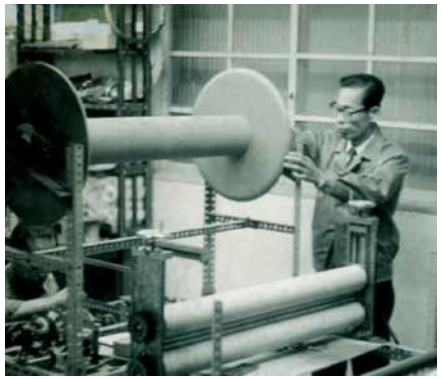


Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社のあゆみ

1965～1983年 ハニカム成形技術の確立

- ✓1974年、連続ハニカム成形技術の確立により日本で初めて全熱交換器を開発、商品化
- ✓ハニカムローターの機器メーカーへの供給を開始



1965年7月
西部技術研究所設立

1984～1999年 ハニカム成形技術を使った製品の開発

- ✓1984年、シリカゲルを使ったデシカント除湿ローターを商品化
- ✓1988年、合成ゼオライトを使ったVOC濃縮ローターを商品化

1993年10月
DST社（スウェーデン）を買収

2000～2009年 開発からアフターサービスに至るまで一気通貫型ビジネスの展開

- ✓2000年代、デシカント除湿機を中心に、完成品まで製造
- ✓工事業者やエンドユーザーに直接販売する事業にも注力

2001年
米国にSeibu Giken Americaを設立

2007年
中国に西部技研環保節能設備を設立

2009年
中国に迪思特空气处理设备を設立

2010～2019年 強固なグローバル販売体制の構築

- ✓日本からの輸出に加え、各地域で細かい対応を行うため、海外拠点の構築を加速
- ✓2010年より、当社製品を機軸としたソリューション事業への展開を開始

2012年
米国にSeibu Giken DST Americaを設立

2013年
ポーランドにSeibu Giken DST Polandを設立

2019年
大韓民国にSeibu Giken Koreaを設立

2020年～ 先端産業への事業拡大

- ✓二次電池や半導体等の先端産業への事業展開を推進
- ✓市場成長が見込める中国、欧州、米国での生産能力の向上

2020年
宗像工場建設

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社の強み①　コア技術

- ハニカムを通過する空気の質をコントロール
- ハニカム積層体に機能を持たせることで、お客様の製造環境における様々な課題解決を実現

ハニカム積層体の加工技術

- ティッシュペーパーのように薄く柔らかい素材から、アルミ等の金属シートに至るまで、用途に応じて様々な素材をハニカム状に成形可能
- ハニカム積層体の3つの特長

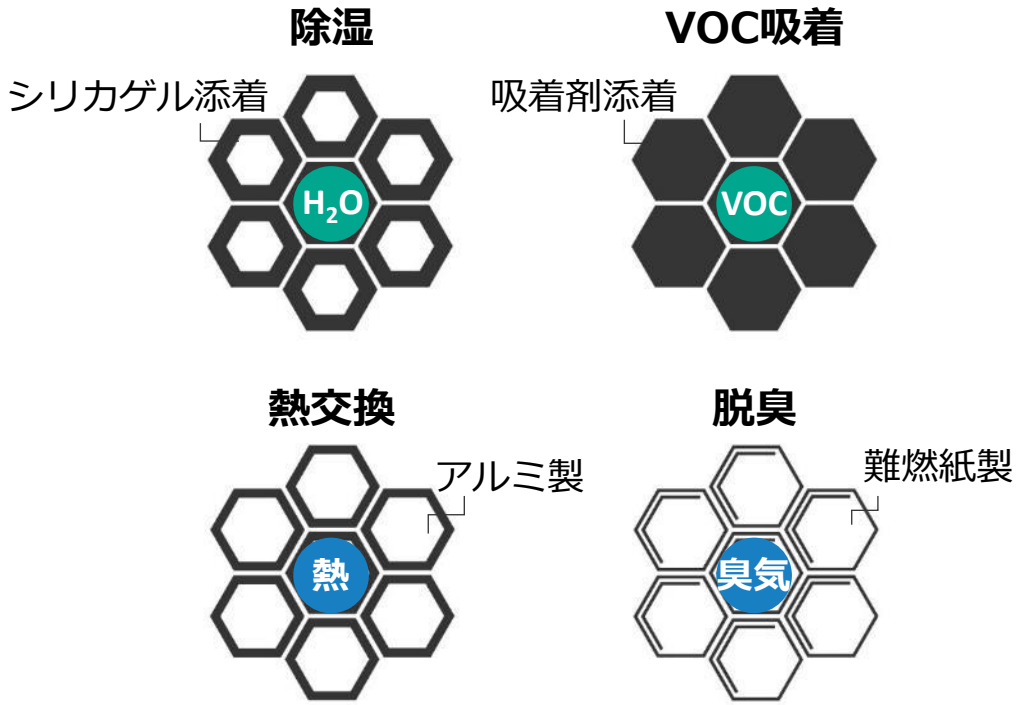
  ①空気抵抗が低い

  ②強度に優れる

  ③表面積が広い

機能剤の添着・担持技術

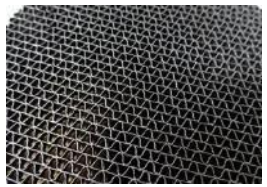
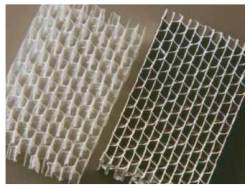
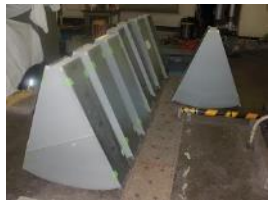
- ハニカム積層体に、触媒・吸着剤・脱臭剤等の様々な機能剤を効率的に添着・担持することにより、多様な機能を持たせることが可能
- 本技術をデシカント除湿機やVOC濃縮装置、全熱交換器に応用



Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社の強み②　開発・生産からアフターサービスまで一気通貫

■ メンテナンスまでのサービスをカバーすることで、お客様から直接入手するニーズやフィードバックを自社製品の開発や提案活動に反映

	ハニカム加工	ローター製造	モジュール製造	完成品組立て	システム施工	メンテナンス
デシカント除湿機						
	SEIBU GIKEN					
VOC濃縮装置					燃焼装置メーカー	
	SEIBU GIKEN					SEIBU GIKEN

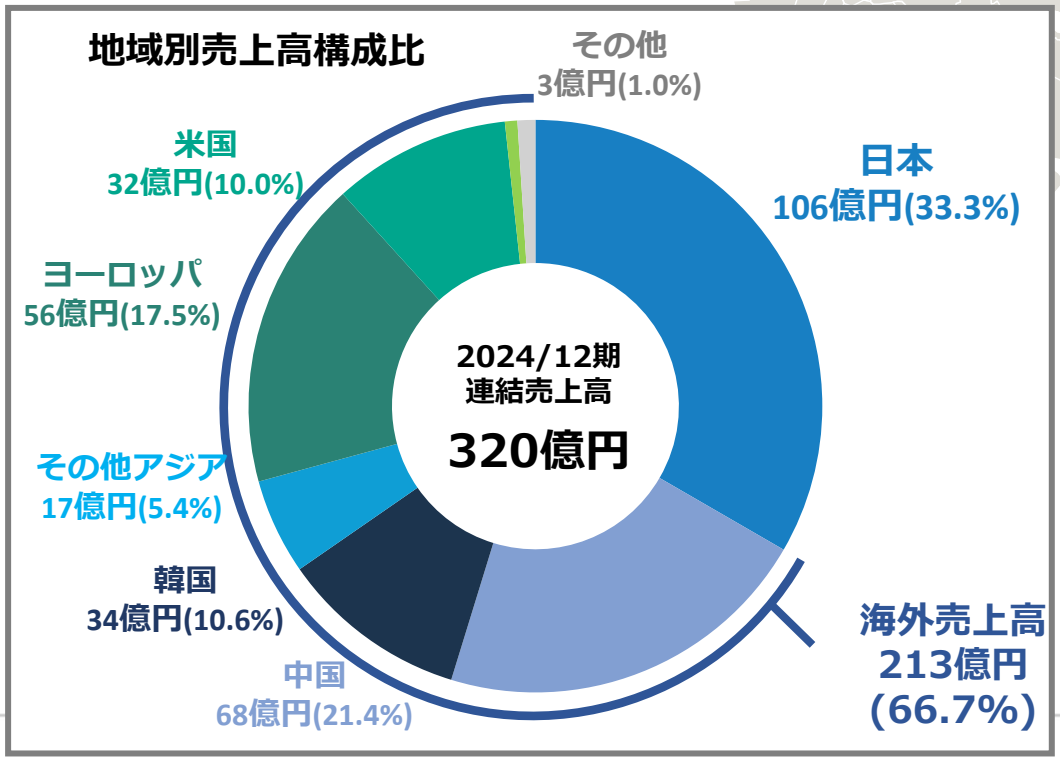
ローター開発・製造から完成品製造、システム施工、メンテナンスまで一貫して手掛けています。
国内では、据付、メンテナンス、ローター交換まで提供し、製品の性能を最大限に発揮できる環境づくりを行っています。

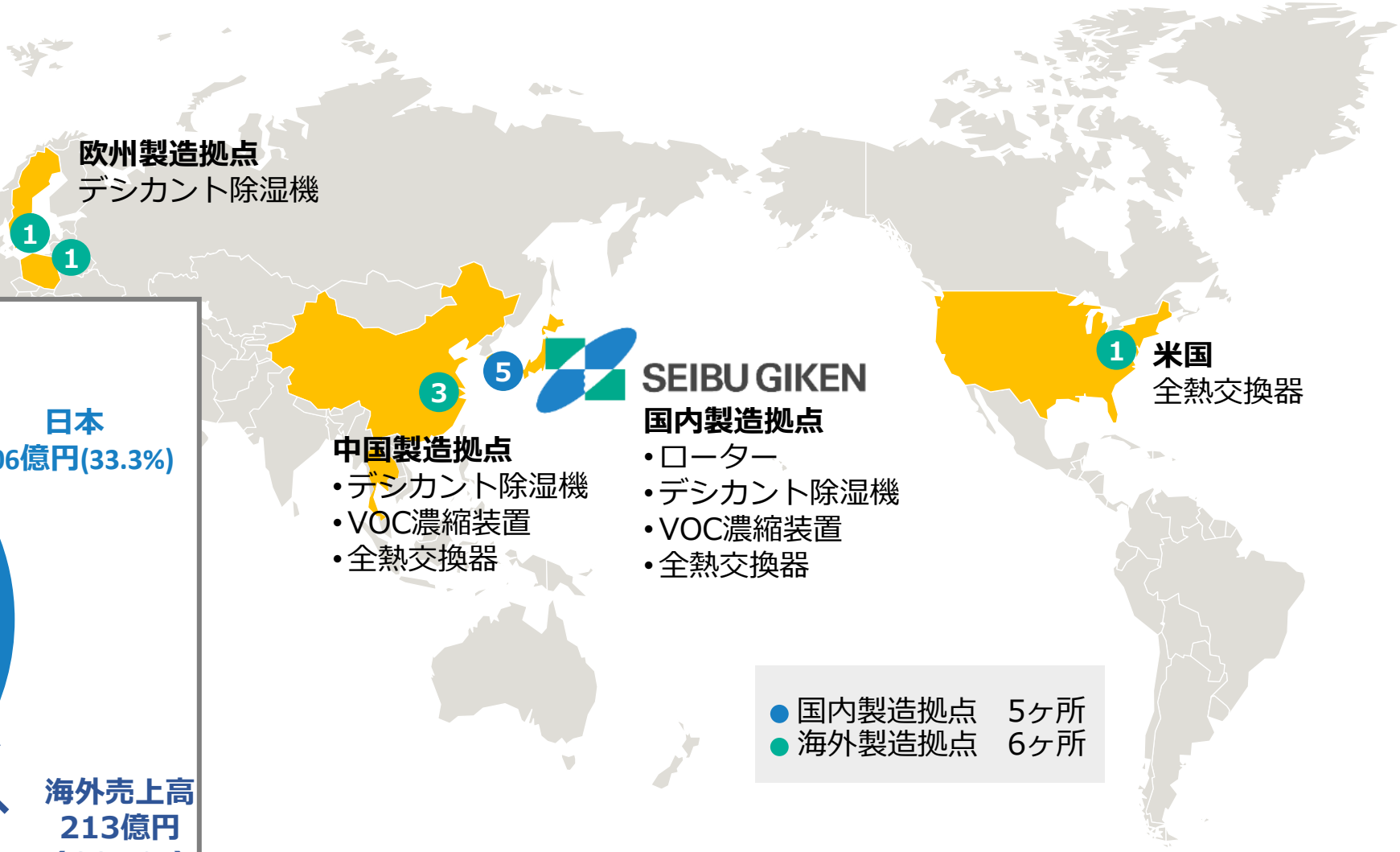
ローター開発からモジュール製造までを行い、装置メーカーへ販売しています。
他社製ローターを使用中であっても、メンテナンスだけでなく当社製ローターへの交換を可能としております。

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社の強み③　グローバル供給体制

- 製品の心臓部であるローターは日本国内のみで生産、世界の各製造拠点で組立て
- 世界各国のお客様のニーズに迅速かつ柔軟に対応しながら、高品質・高性能な製品をグローバルで供給





Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社の強み④　トータルエンジニアリング

製造工場の空気環境を丸ごと西部技研が創出する。

トータルエンジニアリングの売上推移

2023年 **33億円** ▶ 2024年 **80億円** ▶ 2025年見通し **121億円**

事業範囲を広げることで1物件あたりの受注額が拡大傾向

未来　プロダクトアウト＋マーケットイン

●工場生産ラインを優先した建築設計へのコンサルティング
●協力企業とのアライアンスによる建築設計・工事

2025年以降CM業務※として一部受注済

現在　ソリューション提案に注力

●既存製品を使用するドライルームをはじめとした工場空気環境の設計および施工工事
●自社製品の使用でオールインワンで調和のとれた最適な空気環境の構築が可能

過去　プロダクトアウト

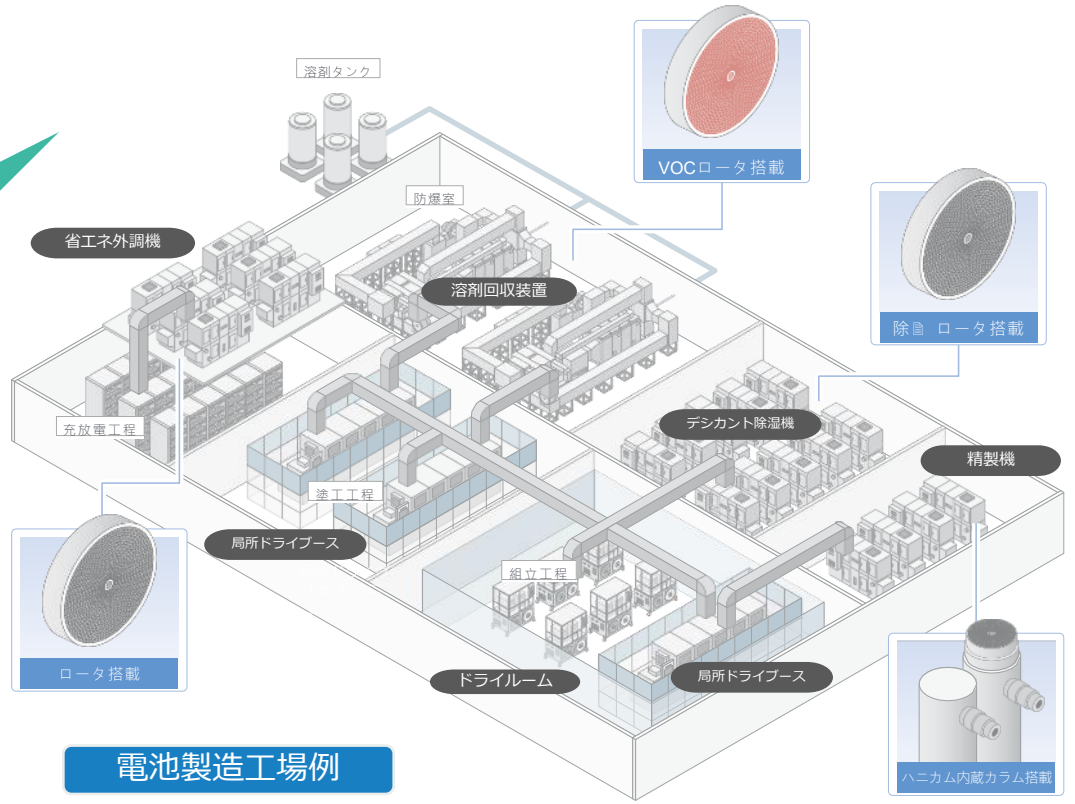
●除湿機・VOC除去装置等の機械の販売
●プロダクトアウト事業

※CM（コンストラクションマネジメント）業務
技術的中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの各種のマネジメント業務の全部または一部を行う。

リチウムイオン電池製造工場

金属リチウムは空気中の水分と反応すると非常に激しく燃焼する。
製造工程では空気中の水分を**限りなく０にまで除湿させたドライ環境**が必要。

電池の生産環境のコンサルティング・設計・製造・施工といった
トータルエンジニアリングを提供できる唯一無二のプロバイダー



電池製造工場例

生産環境の設計・機器製造・施工工事までを事業範囲として拡大

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社が提供する価値（用語説明）①

名称	内容
デシカント除湿機	除湿ローターを用いた吸着式の除湿機。冷却式と比べ低温環境や空気中に水分が少ない環境でも効率的に除湿が可能。
VOC濃縮装置 （排ガス除去）	VOC(揮発性有機化合物)をVOC濃縮ローターに吸着させてVOC混合排出ガスを無害化。低濃度・大風量のVOC混合排出ガスを濃縮することで、燃焼装置等の無害化処理設備の規模を縮小でき、省エネによるCO2削減、コスト削減に寄与。
VOC濃縮装置 （溶剤回収）	VOCを濃縮ローターに吸着させてVOC混合排出ガスを無害化するとともに、濃縮された排気を冷却凝縮しVOCを液体として回収。回収液は安定性が高くリサイクルのための精製負荷が低減。循環型省エネシステムにより、省エネ、CO2削減に寄与。
ドライルーム	デシカント除湿機によりドライな作業空間を提供。 除湿機の開発設計からルーム施工までを一貫して行うことにより、高効率・省エネルギーのシステムを創出。
ミニエンクロージャ （ドライブース）	生産装置等を局所的に囲うことで、エリア縮小によるコスト削減に寄与。 ドライブース（局所的高気密な囲い＋除湿）では、ドライルーム内等での更に厳しい除湿環境の創出が可能。
省エネ外調機	排気に含まれる熱エネルギーを全熱ローターによって回収し、除湿ローターで除湿を行うことで、外気処理を省エネで行う空調機。

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.

当社が提供する価値（用語説明）②

名称	内容
循環型窒素精製機	精製機と除湿機の組み合わせで、低酸素濃度および低水分濃度の環境を効率的に創出。
クリーンルーム	装置稼働時でも目標清浄度を達成するISO 規格対応のクリーン空間（当社ではClass 1まで対応可能）を提案。
CO2濃縮供給装置	DAC（Direct Air Capture、直接空気回収技術）で大気中に含まれるCO2を濃縮して植物に供給することで収穫量が向上。
トータルエンジニアリング	製造の最適空間創出のためのシステムの提案、設計、製作、施工等の一部あるいは全てを一貫して提供。
コンストラクション・マネジメント	技術的中立性を保ちつつ発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、コスト管理などの各種のマネジメント業務の全部または一部を行う。
FFU(ファンフィルタユニット)	クリーンルームの清浄度を保つために天井に設置して清浄空気を供給する装置。
AHU(エアーハンドリングユニット)	外気を取り入れ、温度・湿度等を調節して屋内に供給する空気調和機。

Copyright@ 2025 SEIBU GIKEN CO., LTD. All Rights Reserved.